

1999年11月30日

ディケンズ・フェロウシップ日本支部 ニュースレター

1999年度総会は11月20日、甲南大学平生記念セミナーハウスで開催された。会場にはMr. Graham Smithの協力を得て、1970年発行のディケンズ記念切手(Antigua, Barbuda, Botswana, British Virgin Islands, Dominica, Dubai, Great Britain, St. Helena, St. Kitts-Nevis-Anguilla, St. Lucia, Turks & Caicos Islandsにおいて発行)が多数展示され、参加者の注目を集めた。以下、総会の報告と今後の予定についてお知らせいたします。

総 会

西條支部長により、ここ数年かけて日本におけるディケンズ研究書誌と『ディケンズ作品鑑賞事典』(仮称)を作成したいとの挨拶があり、つづいて以下の議案が了承・可決された。

1 総会議事

(1) 役員交代

| | |
|-----------|---------|
| 名誉支部長 | 小池 滋 氏 |
| 副支部長 | 青木 健 氏 |
| 監 事 | 松村 昌家 氏 |
| 財務理事 | 田中 孝信 氏 |
| 理事(会報担当) | 原 英一 氏 |
| 理事(Web担当) | 松岡 光治 氏 |

なお、内山 正平 氏および中島 文雄 氏は、2000年9月まで勤めて退任。

[以上可決]

(2) 1999年度会計報告・監査および2000年度会費

別紙の通り報告、監査の報告があり、了承された。

2000年度会費は、本年度と同じ6,000円に据え置く。

[報告了承]

(3) 『会報』の新編集方針

原新理事による編集方法の刷新で、出版費の大幅な縮小が可能となり、増ページが期待できることとなった。これを受けて、次号より『会報』をロンドン本部の *The Dickensian* に近づけ、学術論文の掲載を行う。

[報告了承]

(4) 諸報告

a 春季大会は2000年6月10日に広島大学で開催します。研究発表を希望される方は年内に植木理事まで申し出て下さい。

b 『会報』を学術雑誌として登録するため、来期中にディケンズ・フェロウシップ日本支部規約を作成し、『会報』の名称変更をも含め、次回総会に提案する予定です。

c Dickens Fellowship Rochester Conference は 27th July - 2nd August 2000 に開催されます。正式なパンフレットが届き次第お知らせします。なお、2001年はNew York、2002年はLondonの予定です。

d 劇団「すばる」による『クリスマスキャロル』上演(於三百人劇場 [東京都文京区]、12月13日~12月25日)(詳しくは日本支部ホームページの最新情報を御覧ください)

2 研究発表

原英一氏(東北大学)の司会で、次の発表があった。

甲斐清高氏「ニコラス・ニクルビーにおけるメロドラマ的自己表現」

3 講演および朗読

楚輪松人氏(金城学院大学)の司会のもとで、Professor Michael Slater (University of London) は

“The Artistry of *Our Mutual Friend*” の演題で、愛・金銭・人間関係のテーマを中心に、作中人物の生と死の諸相を熱っぽく語った。講演のあと “Silas Weg & Venus” (Bk.I, Ch 7), “Wrayburn, Headstone & Charlie” (Bk.II, Ch.6), “The Family Dinner Party at the Wilfers” (Bk.III, Ch. 4) の朗読で会場を沸かせた。

懇親会

懇親会（於総会々場）は 52 名の参加を得て、会員相互の楽しい語らいと交歓の場となった。

お知らせ

- 1 2000 年度 (1999 年 10 月～2000 年 9 月) の年会費 6,000 円を同封の振込用紙でお支払い下さい。
- 2 『会報』への投稿論文を募ります。
 - (1) 論文は日本語、英語のいずれでも可。(英文の場合はネイティブ・チェックを受けていること)
 - (2) 原則として、日本語の場合は 10,000 字 (25 枚) 以内、英語の場合は 4,500 語以内とする。
 - (3) 論文原稿締切は 7 月 10 日必着。
 - (4) 投稿先は日本支部事務局宛とする。
- 3 日本におけるディケンズ研究書誌作成のため、会員各位（わかれば会員以外の方も含め）の 1995 年 1 月以降のディケンズに関する著書・論文を次の要領でお知らせ下さい。(1945 年～1994 年については日外アソシエーツ株式会社より『英米文学研究文献要覧』の利用許可を 11 月 9 日にいただきました。)

分類

氏名

論文名

掲載雑誌・号数

掲載年月

なお分類は、以下に従って下さい。

著書 / 翻訳 / 伝記・生涯のエピソード / 作家論・作家の想像世界 / 評価の歴史 /
ことば・文体 / 挿し絵 / ディケンズと社会・ロンドン / 他作家との比較 / ディケンズと日本 /
子ども像 / 演劇・朗読 / ジャーナリズム / 書評 / 作品論 (SB, PP, OT, Xmas,...) / 上記以外。

送り先

松岡光治氏宛に（できれば e-mail で）お知らせください。

e-mail: matsuoka@lang.nagoya-u.ac.jp

郵便：464-8601 名古屋市千種区不老町名古屋大学言語文化部 松岡光治氏

- 4 ロンドン本部は運営を円滑に行うため、本年度より海外支部の代理制を採用することに踏切り、日本支部の代理はマイケル・スレイター氏がこれに当たることに決まりました。
- 5 2,000 年度より *The Dickensian* が £1 値上がりし、年間 £8 (会員価格) となります。
- 6 Alan Watts (元会長) の著書 *The Confessions of Charles Dickens* は残部がございます (1 部 ¥2,200)。希望者は事務局までお申し込み下さい。(e-mail: saijo@center.konan-u.ac.jp)
- 7 総会終了後、日数をおかず Rochester Conference の案内が到着しました。ここに同封いたします。

以上